

# 患者の皆様へ

令和4年4月12日

腎臓内科

現在、腎臓内科では、ネフローゼ症候群の発症に関わる血液中の物質を明らかにする研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2017年4月～2022年1月に当院で腎生検を受けられ、「腎臓内科疾患のデータベース作成ならびに腎臓病の新規診断法と新規治療法の開発」の研究に同意していただいた患者様の診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

## 1. 研究課題名

後天性腎疾患の病態における液性因子の検討

## 2. 研究の意義・目的

ネフローゼ症候群は、大量の蛋白尿と高度の浮腫を呈する病気であり、多くの場合、入院と治療を必要とします。何故この病気を発症するのかは依然として判明していませんが、腎臓にあるポドサイトという特徴的な細胞が障害されていることは広く知られています。ネフローゼ症候群の発症において血液中に含まれる特定の物質に関わることを明らかにするため、ネフローゼ症候群発症時の患者様の血清を用い、抗体と結合するタンパク質の測定を行い、他の後天性腎疾患の患者様の血清と比較検討を行います。

## 3. 研究の方法

2017年4月1日から2022年1月31日の間において、採取・保存された血液検体と診療録に記載されている診断名、年齢、性別、治療方法、治療反応性などの関連を調べます。

## 4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者様の氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院腎臓内科学研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。

## 5. 外部への試料・情報の提供

匿名化されたデータは研究代表機関の杏林大学へ送られ、解析されます。対応表は、当

科の研究責任者が保管・管理します。

## 6. 研究組織

千葉大学大学院医学研究院 腎臓内科学 教授 浅沼 克彦  
杏林大学医学部小児科学 講師 福原 大介

## 7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。ので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

**研究実施機関** : 千葉大学大学院医学研究院 腎臓内科学  
**本件のお問合せ先** : 千葉大学医学部附属病院 腎臓内科  
医師 相澤 昌史  
043 (222) 7171 内線 5085 (医局)

**研究代表機関** : 杏林大学医学部小児科学  
**研究代表者** : 福原 大介